

工業用水道事業

令和元(2019)年度決算と経営戦略収支計画比較

会計名:工業用水道事業

(単位:百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

		a)計画額	予算額	b)決算額	b-a	備 考	
収益的 収 支	収 入	料金収入	508	496	519	11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 料金収入は、ほぼ計画額どおり ・ その他収入は、受託事業の実施により増
		その他収入	121	309	174	53	
		(計)	629	805	693	64	
	支 出	人件費	53	49	49	▲ 4	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他支出は、受託事業の実施により増
		減価償却費	222	220	219	▲ 3	
		修繕費	26	49	40	14	
		その他支出	230	413	259	29	
		(計)	531	731	567	36	
	経 常 損 益		98	74	126	28	
	資本的 収 支	収 入	借入金	0	0	0	0
その他収入			10	10	10	0	
(計)			10	10	10	0	
支 出		建設改良費	198	92	123	▲ 75	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建設改良費は、中央監視制御装置更新工事の繰越しにより減
		借入金償還金	62	83	82	20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 借入金償還金は、一般会計への償還額の増により増
		その他支出	4	4	0	▲ 4	
		(計)	264	179	205	▲ 59	
差 引		▲ 254	▲ 169	▲ 195	59		

工業用水道事業 経営戦略達成状況

1 経営面に係る評価

	経営資本 営業 利益率	営業収支 比率	経常収支 比率	自己資本 構成比率	流動比率	借入金 残高	剰余金 (欠損金) 残高
	経営資本で、どの程度営業利益を上げたかで、高いほど収益性が良好	営業活動の能力で、高いほど収益性が良好	経常的な企業活動の効率性で、高いほど良好	総資本に対する自己資本の割合で、高いほど経営基盤は安定	短期的な支払能力で、高いほど経営基盤は安定	計画値より下回れば良好	計画値より上回れば良好
	(単位: %)					(単位: 百万円)	
A: 計画値		98.3	118.5			2,284	403
B: 予算値	▲ 0.8	91.5	112.5	87.1	1050.3	2,223	258
C: 決算値	0.2	102.7	122.2	86.6	823.4	2,225	502
達成率(%)	225.0	104.5	103.1	99.4	78.4	102.6	124.6
達成度評価	A	A	A	B	C	A	A
目標達成又は未達成の要因等	<ul style="list-style-type: none"> 支出の減等により経常利益が計画額を上回ったため、経常収支比率及び剰余金残高は計画値を上回った。 計画的な借入金償還により、借入金残高は計画値を下回った。 未払金により流動負債が増加したため、自己資本構成比率及び流動比率は予算値を下回った。 						

※当該年度の計画値(額)又は予算値(額)と決算概算値(額)を比較して、達成度を評価

※剰余金(欠損金)残高は、剰余金の処分は考慮しない。

2 事業面に係る評価

(1) 計画業務量に係る達成状況

	年間基本供給水量 (単位: 千m ³)	年間実供給水量 (単位: 千m ³)	目標達成又は未達成の要因等
A: 計画値	9,300	5,700	<ul style="list-style-type: none"> 年間基本供給水量は、最大5%の減量を認めたため計画値を下回った。
予算値	8,984	5,651	
B: 決算値	8,984	5,825	
達成率(%)	96.6	102.2	
達成度評価	B	A	

※当該年度の計画値と決算概算値を比較して、達成度を評価

(2) 工業用水道事業の実施計画に係る取組実績等

項目	取組	令和元(2019)年度の取組実績
工業用水の安定供給	○設備更新等の計画に基づく更新工事等の実施 設備更新等の計画の見直し(3年毎)	▶中央監視制御装置更新工事(H30～R2、鬼怒)
	○水質検査結果等の情報発信	▶水質検査結果HP公表
	○施設防護対策等の充実	▶浄水場等機械警備業務委託(H29～R3、鬼怒)
新規需要の開拓	○工業用水ニーズの情報収集	▶需要拡大検討班会議を開催(8月) ▶受水企業訪問(1～2月) ▶関係機関との情報交換(3月)
	○新たな受水企業の誘致活動	▶キリンビール工場跡地PR(チラシ配布:1,710枚) ▶新規企業への営業活動 ▶芳賀第2工業団地配水管詳細設計業務委託(H30～R元)
災害に強く、強靱な施設と体制づくり、水質事故等の対応強化	○設備更新等の計画に基づく更新工事等の実施 設備更新等の計画の見直し(3年毎)	—
	○耐震化への取組	▶管路施設耐震化等検討会を実施(8月、12月、1月、3月)
	○災害想定訓練の実施	▶防災訓練を実施(6月)
	○応急復旧体制の強化	▶水道事業等BCPIに係る庁内検討会を実施(7月、11月、1月、2月)
	○災害対応強化	▶管路施設GISシステム構築業務委託(H30年度～R元年度、北那須、鬼怒)
経基盤の強化	○適正な料金設定	▶現行料金制度を維持した上で、受水企業の定着を図るため、一部、基本供給水量の減量を実施(料金適用期間:H29年4月～R4年3月)
人育材成	○技術継承、研修の充実、資格取得支援	▶日本工業用水道協会主催の技術継承研修等の研修会に参加(4回、5名) ▶酸素欠乏危険作業主任者等の資格取得を支援(2名) ▶OJT実施による技術継承(10月、11月、12月、2月)
環境対	○高効率・省エネルギー機器の導入	—
	○浄水発生土の資源化利用	▶浄水発生土の有効利用(上・工水合計;1,212t)

備 考	令和2(2020)年度の取組予定
	<ul style="list-style-type: none"> ▶中央監視制御装置更新工事(H30～R2、鬼怒) ▶設備更新等長期計画策定検討会による計画の見直し
	<ul style="list-style-type: none"> ▶水質検査結果HP公表
	<ul style="list-style-type: none"> ▶浄水場等機械警備業務委託(H29～R3、鬼怒)
	<ul style="list-style-type: none"> ▶需要拡大検討班会議を開催 ▶受水企業訪問 ▶関係機関との情報交換
<p>・地域整備課の営業活動時にパンフレット配布</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶キリンビール跡地進出企業への工業用水PR ▶新規企業への営業活動(芳賀第2工業団地を含む)
	<ul style="list-style-type: none"> ▶設備更新等長期計画策定検討会による計画の見直し(再掲)
	<ul style="list-style-type: none"> ▶管路施設耐震化等検討会 ▶管路施設耐震(簡易)診断業務委託 ▶配水管路劣化診断等業務委託
	<ul style="list-style-type: none"> ▶防災訓練を実施 ▶受水企業との共同防災訓練を実施 ▶水道事業等新型インフルエンザ対策訓練を実施
	—
	—
<p>・固定的経費を回収する基本料金(基本供給水量)と変動的経費(使用水量)を回収する使用料金で構成される二部料金制度</p> <p>・基本料金単価:49.39円/m³、使用料金単価:8.96円/m³ (単一料金換算55.15円/m³)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ▶鬼怒工業用水道事業の令和4年4月以降の料金見直しをR2～3年度に予定
	<ul style="list-style-type: none"> ▶日本工業用水道協会主催の技術継承研修等の研修会に参加 ▶資格取得の支援 ▶OJT実施による技術継承
	<ul style="list-style-type: none"> ▶照明のLED化を実施
<ul style="list-style-type: none"> ▶埋め戻し材として再利用 	<ul style="list-style-type: none"> ▶浄水発生土の有効利用

自己評価等						
1 経営面に係る評価 ・ 経営資本営業利益率等の5指標がA評価、自己資本構成比率がB評価、流動比率がC評価となった。						達成度 評価
2 事業面に係る評価 (1) 計画業務量に係る達成状況 ・ 年間供給水量がB評価、年間実供給水量がA評価となった。 (2) 実施計画に係る取組実績等 ・ 芳賀第2工業団地での新規需要開拓に向け、配水管布設の詳細設計業務委託を実施した。 ・ 業務継続計画を整理し、応急復旧体制の強化を図った。						
評価委員会の評価等						
・ 計画値を上回る経常利益を確保したことは評価できる。 ・ 令和元年度の取組は、ほぼ実施計画どおり進捗している。						達成度 評価
A						
	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)	
自己評価	A	B	A	A		
評価委員会の評価	A	B	A	A		

※当該年度の計画(予算)内容と取組実績等を比較して、達成度を評価

今後の取組課題・改善点等	
<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心な工業用水の安定供給を図るため、引き続き、計画的な設備更新工事等の実施や災害に強く強靱な施設と体制づくりに取り組む。 ・受水企業の定着促進とあわせ、新規需要の開拓に取り組む。 ・適正な料金設定等による経営基盤の強化や人材育成、技術継承、環境対策に取り組む。 	

○ 経営指標に係る達成状況(工業用水道事業)

(単位:%)

		平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
経営資本 営業 利益率	予 算 値		▲ 1.7	▲ 7.9	▲ 1.0	▲ 0.8	
	決 算 値	2.2	0.4	▲ 6.4	0.1	0.2	
	達成度評価		A	A	A	A	
営業収支 比率	計 画 値		84.7	101.4	99.2	98.3	96.4
	予 算 値		84.7	53.1	90.6	91.5	
	決 算 値	125.2	103.9	59.3	101.2	102.7	
	達成度評価		A	C	A	A	
経常収支 比率	計 画 値		114.7	121.9	119.4	118.5	116.3
	予 算 値		114.7	103.6	111.8	112.5	
	決 算 値	134.3	127.2	112.2	122.5	122.2	
	達成度評価		A	B	A	A	
自己資本 構成比率	予 算 値		85.7	85.8	86.6	87.1	
	決 算 値	85.4	85.9	86.0	86.5	86.6	
	達成度評価		A	A	B	B	
流動比率	予 算 値		832.2	534.3	577.2	1050.3	
	決 算 値	1,047.4	1,288.6	939.4	1,076.1	823.4	
	達成度評価		A	A	A	C	

借入金 残高	計 画 額		2,487	2,415	2,346	2,284	2,225
	予 算 額		2,487	2,395	2,306	2,223	
	決 算 額	2,562	2,489	2,396	2,307	2,225	
	達成度評価		B	A	A	A	
剰余金 (欠損金) 残高	計 画 額		90	203	305	403	491
	予 算 額		90	122	187	258	
	決 算 額		141	248	376	502	
	達成度評価		A	A	A	A	

○ 計画業務量に係る達成状況

(単位:千m³)

年間基本 供給水量	計 画 値		9,200	9,200	9,200	9,300	9,200
	予 算 値		9,241	8,828	9,078	8,984	
	実 績 値	9,171	9,243	9,013	8,972	8,984	
	達成度評価		A	B	B	B	
年間実 供給水量	計 画 値		5,700	5,700	5,700	5,700	5,700
	予 算 値		5,674	5,675	5,629	5,651	
	実 績 値	5,766	5,689	5,680	5,936	5,825	
	達成度評価		B	B	A	A	

○ 収支の状況(工業用水道事業)

(単位:百万円)

				平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020)
収益的 収支	収入	料金 収入	計 画 額		507	507	507	508	507
			予 算 額	500	507	487	499	496	
			決 算 額	534	531	516	518	519	
		その他 収入	計 画 額		199	121	121	121	121
			予 算 額	128	199	474	121	309	
			決 算 額	120	127	469	116	174	
	支出	人件費	計 画 額		53	53	53	53	53
			予 算 額	60	53	58	53	49	
			決 算 額	51	73	54	46	49	
		減価 償却費	計 画 額		181	201	218	222	246
			予 算 額	179	181	190	220	220	
			決 算 額	178	177	181	221	219	
		修繕費	計 画 額		57	26	26	26	26
			予 算 額	57	57	49	49	49	
			決 算 額	57	57	49	49	40	
その他 支出		計 画 額		325	235	229	230	215	
		予 算 額	291	325	632	233	413		
		決 算 額	201	210	594	202	259		
経常損益		計 画 額		90	113	102	98	88	
		予 算 額	41	90	32	65	74	0	
		決 算 額	167	141	107	116	126		
資本的 収支	収入	借入金	計 画 額		0	0	0	0	0
			予 算 額	0	0	0	0	0	
			決 算 額	0	0	0	0	0	
		その他 収入	計 画 額		20	17	12	10	39
	予 算 額		25	20	14	12	10		
	決 算 額		25	19	15	12	10		
	支出	建設 改良費	計 画 額		220	362	289	198	89
			予 算 額	261	220	362	259	92	
			決 算 額	267	109	325	12	123	
		借入 償還金	計 画 額		74	72	69	62	59
			予 算 額	84	74	93	90	83	
			決 算 額	83	73	92	90	82	
		その他 支出	計 画 額		4	4	4	4	4
			予 算 額	4	4	4	4	4	
			決 算 額	0	0	0	0	0	
差引		計 画 額		▲ 278	▲ 421	▲ 350	▲ 254	▲ 113	
		予 算 額	▲ 324	▲ 278	▲ 445	▲ 341	▲ 169		
		決 算 額	▲ 325	▲ 163	▲ 402	▲ 90	▲ 195		